

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、外国語活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育にかかわる学級の目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。 言語環境を整え、教育環境の整備を図る。		一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。						1年間の学校生活を振り返り、自己の成長を確認させる。		
各教科 読書科	体育(走・跳)「リレー」きまりを守り、仲よく助け合う態度を育てる。	国語「気持ちをつたえる話し方・聞き方」自分の考えを適切に表現する。		国語「わすれられないおくりもの」場面の情景や登場人物の心の動きを想像しながら読み、登場人物の人物や思いやりを読み取る。			読書科「おすすめの場面を紹介しよう」登場人物のよさをみつける。 国語「モチモチの木」場面の移り変わりや登場人物の心情を捉える。		国語「おにたのぼうし」場面の移り変わりをとらえながら読み、情景や人物の気持ちを想像する。 体育(ゲーム)ゴール型「ポートボール」友達と協力してゲームを楽しむ。			
道徳	節度・節制 節度ある生活を送ろうとしている。	親切・思いやり 困っている人に対して、優しい思いやりの心で接しようとしている	相互理解 寛容 相手のことを理解し、異なる意見も尊重しようとする	家族愛 家族を敬う 家族の一員として家庭を明るくしていこう	生命の尊さ 生命あるものを大切にする	礼儀 誰に対しても真心をもって接する	個性の伸長 自分の特長、気付き、よいところを伸ばす	公正・公平 誰に対しても公正・公平に接する	努力と強い意志 目標に向かって、強い意志をもってやり遂げることの大切さがわかる。	友情 信頼 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。	国際理解 国際親善 世界の人々や文化に親しんで、関心をもつことの大切さがわかる。	
総合的な学習の時間	小松菜を育てよう 小松菜作りを体験し、江戸川区の小松菜について理解を深め、収穫の喜びを感謝の気持ちで表す。		地域安全マップを作ろう 地域を理解すると共に、登下校を見守って下さる方々に感謝の意を表す。			みどり学級のことを知ろう みどり学級（特別支援学級）の児童への理解を深め、かかわり方を考える。						
特別活動	学級活動 自分や学級の目標を設定し、望ましい人間関係を考える。	運動会 協力し合って演技をする。友達を応援する。	学校応援団 感謝集会 お世話になっている地域の方々に感謝の気持ちをもつ。			ユニセフ募金 互いに助け合うことの大切さに気付く。		展示会 友達の良さを認め合い、努力に気付く。		学級活動 自己の成長を確認し、進級に向けて、新たな目標を考える。		
その他	仲よし班活動 異学年交流を深め、仲良く遊びながら、お互いを認め合う。											
	みどり学級との交流				外国語活動				みどり学級との交流			

「 」 = 個別的な視点からの取組（「 」内は人権課題） \longleftrightarrow = 関連的な指導 = 「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導